兵庫県立いなみ野特別支援学校 あおの訪問学級通信

のわかく

R4.I.20 発行

第 385 号

・ 謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

令和4年がスタートしました。新型コロナウイルス感染症拡大の脅威が続き、これからも予断を許さない 状況は変わらない中での新春です。皆様はどんな新年を迎えられましたか。

平素は本校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和3年度も残すところ、3カ月を切りました。感染対策を一番に考えながら、児童生徒の学習保障もしっかりと行っていきたいと思います。特に高等部3年生の皆さんにとっては、最後の3カ月です。一瞬一瞬を大切にしながら過ごしてほしいと願っています。頑張ってください。

昨年12月10日には、本校において創立40周年の記念式典を挙行いたしました。40年という長きにわたる歴史の中で、とりわけ兵庫あおの病院様には、開校以来多大なご協力をいただき心から感謝いたします。私たち教職員は、児童生徒一人一人の可能性を信じ、これからもニーズに合った教育を提供することをお約束いたします。何卒、これからも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。保護者の皆さまには、歴史ある本校に安心して教育を任せていただけるよう精進してまいることをお約束いたします。

新しい生活様式の中ではありますが、この一年が、児童生徒はもちろん、保護者の皆様、病院スタッフの皆様にとって、充実した年になりますようお祈り申し上げます。どうか、今年も一年間、よろしくお願いいたします。

(校長 川口 あづさ)

東2病棟

12 月は待ちに待ったクリスマス。教室に飾り付けられたイルミネーションを点灯すると、 みんな目を輝かせていました。教師が歌ったり楽器演奏をしたりしている動画を、嬉しそう に見たり、一緒に歌ったりして楽しみました。お正月に向けての学習では年賀状を作り、無

事に届くように願いを込めながらポストに投函しました。また、音楽発表会でピアノとダンスを披露した児童は、とても緊張していましたが、練習の成果を存分に発揮しました。誕生日がくると 18 歳になる生徒は、選挙について学び、疑似投票にも取り組みました。

東3病棟

12月はクリスマスの学習や書初め、年賀状制作をしました。クリスマスには早いということで、「あわてんぼうのサンタクロース」を題材にし、サンタクロースやトナカイが煙突から落ちる様子を見ました。また、「きよしこの夜」などのトーンチャイム演奏や鉄琴

演奏を聞いたり、イルミネーションの光を見たりしてリラックスしました。さらに、年明けの書道展に向けて、書初めをしました。墨の香りや筆の感触を味わい、個に応じた方法で作品を仕上げることができました。心をこめて作った年賀状が届くのを楽しみにしていてくだい。

西2病棟

12月は、毛糸の帽子をかぶり、うちわの風で疑似の枯葉を揺らして木枯らしや雪に 見立てた緩衝材で雪玉を作って雪合戦の雰囲気を味わいました。また、タブレットでス イッチを押しながら、顔写真付きのイラストを動かし、様々なクリスマスソングを聞いた

り、スイッチで「メレカリキマカ (メリークリスマス)!」と言いながらハワイのサンタになってプレゼントを配る体験をしたり、教室では、素敵なイルミネーション見たりしてクリスマスを満喫しました。さらに、シール貼りやローラースタンプ等、得意なことを生かして家族への年賀状を制作しました。







西3病棟

12月は、クリスマスやお正月に向けての学習をしました。クリスマスの学習では、クリスマスソングを聞きながら、ツリーチャイムや鈴、ミュージックベルを鳴らしました。パネルシアターでサンタクロースが踊る様子等を見たり、クリスマスツリーの飾りを作っ

たりしました。書初めでは、太い筆を持って一緒に紙の上に置くと、腕をゆっくり動かしたり早く動かしたりして、様々な線が書けました。教室は、クリスマスの飾りや電飾で別世界のようになっていたので、マンドリンや電子オルガンの演奏で静かな曲を聞いて、クリスマスの雰囲気を感じました。